



シェパードパイ

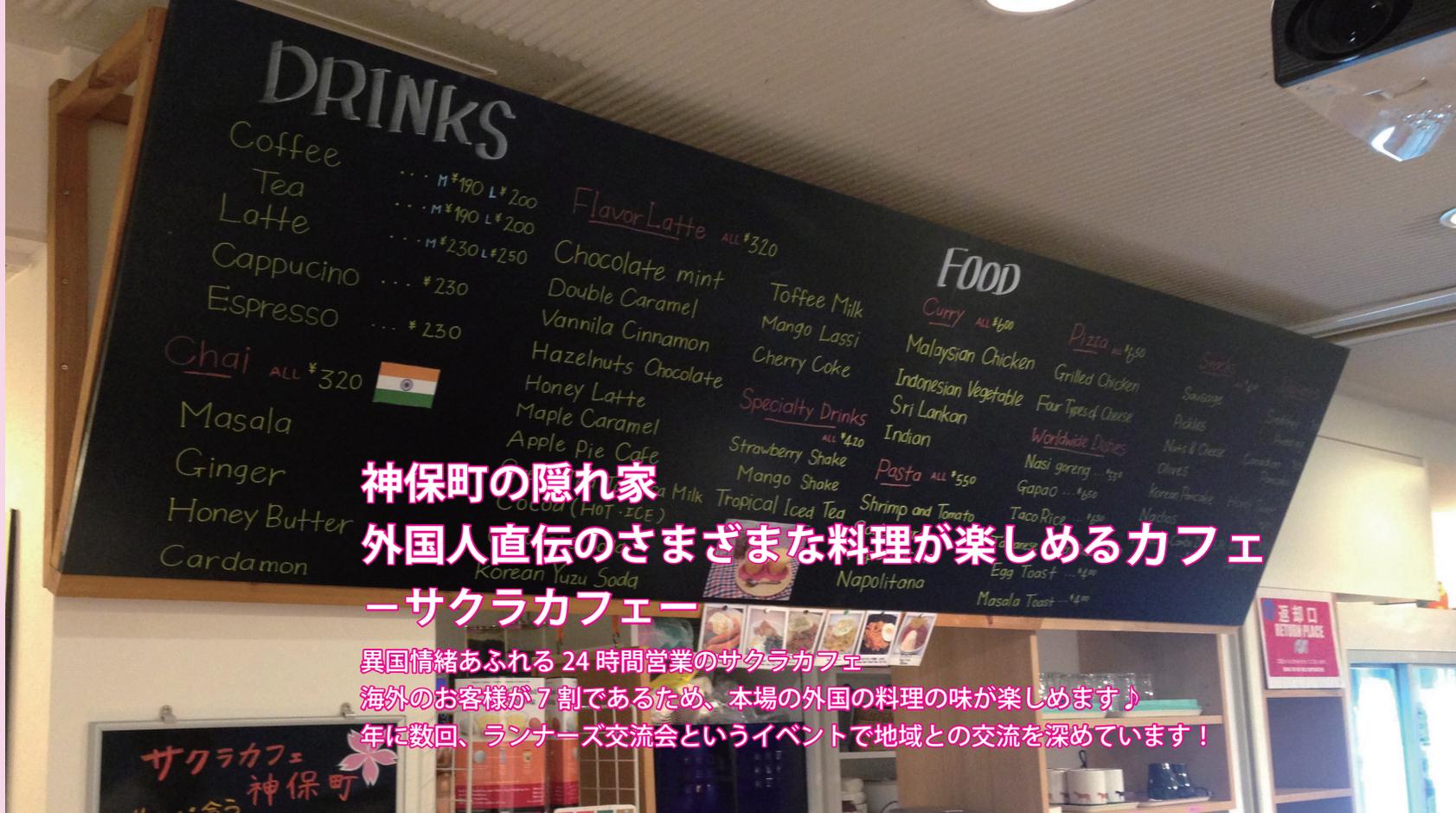
中にマッシュポテトが入っていて、チーズが濃厚でクリーミー！

メニュー紹介



台湾唐揚丼

少しピリッとスパイスが効いていておすすめ一品！



神保町の隠れ家 外国人直伝のさまざまな料理が楽しめるカフェ —サクラカフェ—

異国情緒あふれる 24 時間営業のサクラカフェ
海外のお客様が 7 割であるため、本場の外国の料理の味が楽しめます♪
年に数回、ランナーズ交流会というイベントで地域との交流を深めています！

取材を受けてくださった大島さんは値段以上のサービスを心掛けていると言っていた。実際にサクラカフェは入りやすく、初めて行ったのに既に行ったことあるような感覚であった。海外料理をメインとしていることもあり、少し入りづらいと思われるが、まるで学校の食堂のようなアットホームな雰囲気である。

「交流会」というランナーたちが皇居一周した後に、ご飯を食べて交流するイベントが数か月に一回行われる。カフェとホテルにランニングステーションがあり、会社終わりなどにランニングしたい人が荷物を預けることが出来、着替えるスペースがない人が施設を 550 円で借りることが出来る。ランナー初心者から上級者、日本人や外国人、さまざまな人が集まる。ランナー交流会の目的はお客さんにシャワー施設を利用してもらえること。また、カフェで国際交流ができるため、リピーターを増やし、スタッフとお客さんの距離を縮めるためである。交流会では、お店で出していないメニューなどを 4 品ほど出している。

異国情緒を味わえる
共立女子大学の近くの集英社の通りにある「サクラカフェ」。うすピンク色の建物で、中にさまざまな国の国旗が飾ってあるのが特徴的である。スタッフの大島さんにお店の特徴について、お話を伺った。
サクラカフェは、お客さんいろいろな国の料理を楽しんでもらい、異国情緒を味わってもらおうためのお店である。海外のお客さんが 7 割を占めるため、外国のお客さん(ゲスト)の家の特別なレシピや家庭料理のメニューを教えてもらい、日本のお客さんに知ってもらおうと海外の料理を楽しんでもらうことをコンセプトとしている。確かに私たちがサクラカフェを訪れた時、このカフェには色んな国のメニューがたくさんあり、外国人のお客さんが多く、他のお店では味わえないような空間だった。
一味違った 24 時間営業
サクラカフェの大きな特徴は、24 時間営業であること。ホテルと提携

地域との交流を大事に
そんなサクラカフェは、地域との交流を大事にし、地域のイベントに積極的に関与している。「ランナー
しているため、24 時間利用できる。30 分 100 円でインターネットが利用可能など好きなようにカフェを利用出来る。
神保町にお店を構えた理由は、神保町は東京の真ん中にあり立地が良いため。またホテルの宿泊代が周りに比べて安く、近辺の施設が整っているホテルよりも低予算で宿泊できるため、お客さんのほとんどはバックパッカーが多いという。神保町は皇居が近くにあり、早朝はランニングする人が多い。周りに会社が多いので、深夜は残業していた人が利用している。
サクラカフェ店員
大島 理子さん



サクラカフェ

住所：〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 2-21-4
地下鉄 神保町駅から徒歩 2 分
(A1 または A6 出口)
TEL：03-3261-3939
URL：http://www.sakura-cafe.asia/jimbocho/